

人権だより

(令和7年度1月号)

川之石高校人権委員会 担当 1年次1組

～ 3年次 第3回 人権・同和教育ホームルーム活動 ～

1月9日(金)の6限目に、3年次生を対象として「デートDV」に関する講座が行われました。講師は人権擁護委員八幡浜部会の方々です。1,2年次生のみなさんは、「デートDV」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。誰にでも起こり得る身近な問題です。今月号では、その講座の内容や3年次生の感想を紹介します。

■どれが、デートDVに当たると思いますか？考えてみましょう。

- ・スマホを勝手に見たり、連絡先を消したりする。
- ・相手の意思も確かめず、2人のことでも1人で決める。
- ・他の異性と話したり、親しくしていると責められる。
- ・「バカ」などと傷つく言葉を言われたり、わざと無視されたりする。
- ・付き合っているから当たり前だと、合意もなくキスを迫られる。
- ・デートの費用をいつも負担させたり、借りたお金を返さなかったりする。

答えは裏面へ・・・

3年次生の感想より

○デートDVという言葉は初めて聞きました。「デートDV」と聞いてカップルの問題だから自分には関係ないと思っていました。しかし、DVDを視聴し、友達から相談を受ける場合もあると知りました。相談を受けた際は、相手の話をじっくり聴き、「あなたは悪くない、いつも味方だよ」と伝え、否定をしないようにすることが大切だと思いました。もし、自分自身では相談にのることが難しければ、信頼できる大人や専門機関に相談してみるように勧めたいです。八幡浜市では人権について知ることができる講演会があるのでたくさん参加して知識を身に付けていきたいです。

○デートDVは親しい間柄で起こる暴力で身近に起きる可能性も十分にあることがわかりました。暴力の種類として、心への暴力や身体への暴力、性的暴力以外にも、お金の暴力というのがあることを知りました。どんな理由があったとしても暴力をしてはいけないことや、対等な関係を築くことの大切さを忘れずこれから生活していきたいと思います。



○今日のデートDV出前講座を通して、デートDVは殴ったり蹴ったりすることだけではなく、言葉の暴力や相手の行動を制限したりすることもDVであるとわかりました。今まではDVと聞いて大人だけのものだと思っていましたが、私たちの間でも起こる可能性があることを知りました。また、相手のことが好きでも、いやだと感じることを我慢し続ける関係はいい関係とはいえず、お互いに尊重できていない状態であることがわかりました。自分の気持ちを大事にすること、相手の気持ちを大切にすること両方が大事だと思いました。

○デートDVという言葉も内容も知っていたつもりでしたが、ビデオを視聴してより深く知ることができました。友達に相談された時の対応についても共感的理解をすることが重要であることがわかりました。今回、講演に来ていただいた八幡浜市の人権擁護委員の方は、人権を守るための講演活動を定期的に行っておられるとのことなので、積極的に参加し、人権問題についての知識や理解を深めたいです。

○講座を受ける前は、自分にはあまり関係ないかとも思っていたけど、話や動画を視聴することで、誰もがデートDVをしてしまう可能性や受けてしまう可能性があることがわかりました。デートDVは本人が悪いことをしているという自覚がないように動画を見て感じました。それが一番怖いことだと思いました。自分の行動を改めて見直そうと思いました。



○DVを受けていて悩んでいる人に、無責任に「別れたほうがいい」とか、「あなたに問題がある」というのではなく、まずは相手の気持ちを素直に聞くことが大切であるとわかりました。DVは暴力だけだと思っていましたが、束縛することや言葉で相手を責めることもDVなのだと思いました。この講座を聞いて、DVに関する知識や考え方が自分の中で大きく変わりました。

○デートDVは特別な人の話ではなく、身近に起こりうる問題だと感じました。「好きだから」「心配しているから」という言葉の裏に束縛が隠れている場合があることが印象に残りました。相手を大切にすることは、お互いの気持ちや考えを尊重しあうことだと学びました。

■答え

表面に書いてあった内容は、全てがデートDVに当たります。デートDVは身体的な暴力だけではなく、過度な束縛、言葉の暴力など全てがデートDVになります。無意識にデートDVの加害者にも被害者にもなってしまう場合があります。今一度自分を振り返ってみましょう。